

## 大学施設の紹介

新型コロナウイルス感染症対策のため、利用時間の変更／制限等の対応を行う場合があります。  
最新情報は本学ウェブサイトにてご確認ください。

### 中嶋記念図書館

本学の図書館は、24時間365日、眠ることなく学生たちを受け入れています。

【一般利用時間】

平日・土日祝日 10:00～18:00



### 言語異文化学修センター(LDIC)

言語異文化学修センターは、外国語の自律学修を支援する施設です。英語をはじめ多数の外国語に関する豊富な教材と充実した設備を整えています。

【一般利用時間】

平日・土日祝日 10:00～18:00



## 各種申込方法

本学教職員の派遣や学生との交流に関するご相談・お問合せは、研究・地域連携支援課で受け付けています。

国際教養大学 研究・地域連携支援課 地域連携チーム

Tel. 018-886-5904(月～金 9:00～17:00) Fax.018-886-5910

※土・日曜日、国民の祝日、8月13日から15日、12月29日から翌年1月3日及び本学の開学記念日(4月8日)は事務を取り扱いません。

▶学生との交流

▶講師派遣依頼



発行 2022年6月

発行者 公立大学法人国際教養大学

〒010-1292 秋田県秋田市雄和椿川字奥楯岱

Tel. 018-886-5900 / Fax. 018-886-5910

URL: <https://web.aiu.ac.jp/>

公立大学法人  
国際教養大学

2021年度(令和3年度)  
英語教育・国際交流・  
地域連携活動

2021年4月～2022年3月





公立大学法人 国際教養大学  
2021年度(令和3年度)  
英語教育・国際交流・地域連携活動

2021年4月～2022年3月

## 目次 CONTENTS

### はじめに

2004年4月の開学以来、国際教養大学では教育、研究、国際貢献・地域貢献活動を3つの大学の責務として位置づけて参りました。

私どもはこれまで、図書館、言語異文化学修センター(LDIC)、カフェテリア、カレッジカフェ、Suda Hall(多目的ホール)などの学内施設の一般開放はもちろんのこと、本学が有する教育資源を活用してイングリッシュビレッジをはじめとする教育機会の提供、地域活性化、異文化交流の促進、研修の場の提供等々、さまざまな取組を通して秋田県のみならず各地域へ新しい風を吹き込んできたと自負しております。

現代の大学には、教育および研究機能に加えて、社会貢献の機能が求められています。本学は秋田県にある公立大学として市町村のお力添えをいただき、積極的な交流活動を行い、県境・国境、世代を超えた人々とのつながりを育て参りました。同時に、県内出身学生の郷土愛、県外出身学生の秋田に対する新たな見識、そして世界各国からの留学生の異文化理解をより一層深め、「秋田から世界へ」「世界から秋田へ」という流れを実現するよう努力しております。

本学の日本人学生、海外からの留学生と県内の小中高等学校との交流事業は、2020年度からオンライン会議システムを活用したプログラムとしても展開しています。県内外の学校と世界各国に居住する留学生との交流のほか、イングリッシュビレッジや異文化理解教育プログラムなどもオンラインで実施することで、地域交流の可能性を更に発展させることができました。一方、従来の対面による交流についても、感染症対策を徹底しながら、徐々に再開しております。

本学では2021年度から、これまで展開してきた「国際教養教育」を一步先に進め、「応用国際教養教育(AILA: Applied International Liberal Arts)」という新たな教育手法を打ち出し、本学の全人教育の更なる進化に向けて取り組んでおります。2022年度には地域連携協働研究センターを新設し、本学学生と県内企業の経営者等がデザイン思考

の手法を用いて課題解決に協働で取り組む「AIUデザインLAB」の取組を通して、地域企業との連携を推進して参ります。

コロナ禍による影響が続いておりますが、私どもは地域に開かれた大学、地域と共に歩む大学として、地域のみなさまとの交流活動を推し進めていきたいと考えています。本誌には、困難な状況においても秋田と世界をつなぐ活動に取り組んできた、2021年度の地域貢献活動をとりまとめておりますので、御一読いただければ幸いです。

みなさまの温かい御理解と一層の御支援のほど、よろしくお願いいたします。

2022年4月

公立大学法人 国際教養大学  
理事長・学長 **モンテ・カセム**



はじめに	1
<b>英語教育</b>	<b>3</b>
ティーチャーズセミナー	3
英語指導法セミナー&ワークショップ	3
イングリッシュビレッジ・オンライン	4
異文化理解教育プログラム	4
御所野学院中学校・高等学校との連携	4
<b>国際交流</b>	<b>5</b>
地域と学生の交流	5
南太平洋大学との交流	6
日本語教育との連携	6
<b>地域連携</b>	<b>7</b>
地域連携協働研究センター	7
AIUデザインLAB	7
世界の中の秋田蘭画	8
観光交通デジタル化プロジェクト	8
秋田県産品の海外PR	8
JR東日本寄附講座	8
公開講座	9
AIUリサーチ・ウィーク	9
秋田公立美術大学との連携	9
地域の日本語教育支援	10
<b>大学施設の紹介／各種申込方法</b>	<b>裏表紙</b>

●各ページに掲載している本学教員紹介は、2022年4月1日時点の情報です。  
・氏名・所属・職位の順で掲載しております。  
●各ページに掲載しているQRコードは本学ウェブサイトの関連ページにリンクしています。

# 英語教育

国際教養大学では2004年の開学以来、すべての授業を英語で行うなど、「英語で英語を学ぶ」取組において独自のノウハウを有しています。そのノウハウを小中高等学校の教育現場に還元できるよう取り組んでいます。



イングリッシュビレッジ

## イングリッシュビレッジ・オンライン

TOP GLOBAL UNIVERSITY JAPAN スーパーグローバル大学創成支援事業

これまで国際教養大学のキャンパスで開催してきた2泊3日の中高生のための英語研修プログラム「イングリッシュビレッジ」を別の形で中高生に英語コミュニケーションの機会を提供したいというスタッフ学生の思いから、オンライン・アクティビティとして再編し「イングリッシュビレッジ・オンライン」を実施しました。本学教員によるトレーニングを受けた学部生や大学院生が運営するプログラムに全国の中高生が自宅にいな



対象 県内外の中高生  
開催実績 22回 延716名参加



内田 浩樹  
専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科長・専攻長  
英語教育実践領域代表/教授

中高生が実践的な英語を学び、本学の学生が教師としてのスキルを学ぶという、双方にメリットの大きい事業モデルを実現しました。

## ティーチャーズセミナー

TOP GLOBAL UNIVERSITY JAPAN スーパーグローバル大学創成支援事業



With コロナ、Post コロナを見据え、コミュニケーション中心の実践的な英語指導スキルの向上を目指します。また、先生方が日々の英語の指導に自信が持てるようにサポートします。

対象 県内の小学校教員  
開催実績 小学校外国語活動教員研修事業 40名



町田 智久  
専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科  
英語教育実践領域/教授

「英語を英語で教える」ための授業づくり、小学生も参加する模擬授業、ALTとのチームティーチングなどについて、秋田県教育委員会と協働で研修を開発し、本学教員がワークショップを実施しました。

## 英語指導法セミナー&ワークショップ

米国大使館・在札幌米国領事館共催

オンラインにて日本全国の英語教員の皆さんに英語指導法研修プログラムを提供したほか、新たにビジネスコミュニケーションのスキルアップを目的としたコースも開講しました。



オンラインレクチャーの様子

対象 県内外の小中高等学校の英語教員  
開催実績 ◎日本人教員のための英語指導法研修プログラム 計11回 延382名参加  
◎英語指導法スキルアップ集中セミナー 1回 30名参加  
◎英語教師のためのミニセミナーシリーズ 計6回 延35名参加  
◎英語ビジネス・コミュニケーション・プログラム 計2回 延97名参加



クリストファー・カール・ヘイル (Christopher Carl HALE)  
専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科  
英語教育実践領域/准教授

私たちは、全国の意欲的な英語教師の皆様のために、今後も努力を重ねて参ります。

## 御所野学院中学校・高等学校との連携

本学と教育連携協定を結んでいる秋田市立御所野学院中学校・高等学校を本学教員・学生が定期的に訪問し、相互交流しています。



対象 御所野学院中学校・高等学校の生徒  
開催実績 中学校 9回 延486名参加  
高校 4回 延241名参加



カルロス・バディング (Carlos BUDDING)  
英語集中プログラム、外国語教育/准教授  
言語異文化学修センターコーディネーター

本学の学生が日英で行う授業・アドバイスは、学生・中高生双方にとって、より身近な雰囲気英語を教え・学ぶ貴重な機会となっています。

# 国際交流

200の海外の提携大学などから約200人の留学生が学んでいる本学キャンパスは、『世界の縮図』ともいえる多文化共生空間を形成しています。本学の多様な人材が地域の方々と交流し、地域の国際化推進に貢献しています。



AIU Science LAB

## 地域と学生の交流

国際教養大学では、これまで年間200件を超える対面での交流活動を行ってきました。2021年度は、2020年度から開始したオンライン交流に引き続き取り組み、コロナ禍でも秋田県内・県外の方々ととの交流活動を継続することができました。

### オンライン交流プログラム

#### ●オンライン・大学説明&キャンパスツアー

国際教養大学の概要を説明した後キャンパスの紹介動画をご覧いただきながら、学内各所について学生による解説を行います。

#### ●留学生・日本人学生とのオンライン交流

日本各地/世界各地に居住する学生とオンラインでの交流活動を行います。

交流活動の一例として、学生の出身国・出身地の特徴の紹介(地理、文化等)や簡単なクイズを行ったり、進学先として国際教養大学を選んだ経緯、秋田の印象、留学に関しての体験談発表と質疑応答など、交流の目的、参加学生により日本語/英語を交えた対応が可能です。

#### ●オンライン日本語クラスへの参加

本学のオンライン日本語クラスで学ぶ留学生の学習成果発表会をご覧いただき、生徒さんに感想や質問を日本語または英語でいただくという形で、世界中の留学生と交流します。

#### ●オンラインAIU Science LAB (サイエンス・ラボ)

本学の化学実験室と交流先をオンラインで接続し、教員・学生と基本的な英語で会話しながら楽しく理科実験に参加します。実験終了後の質疑応答では、理科実験以外の質問にも英語で挑戦できます。

### 対面交流

2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った上で対面での交流も再開しました。学校を訪問しての交流を23回、キャンパスへの受入れを2回実施しました。



学生との交流活動に関する情報・お申込



### 2021年度オンライン交流実績

		開催回数	延参加者数	延参加学生数	
				(内留学生)	(内留学生)
秋田県内	保育園・幼稚園	1	26	3	2
	小学校	12	287	43	1
	中学校	9	307	43	4
	高校	3	95	13	0
	その他	14	103	61	0
県外		4	84	16	1
合計		43	902	179	8

オンライン交流の様子



由利本荘市立由利小学校



大湯村立大湯小学校



オンライン交流プログラム紹介動画

### 2021年度対面交流実績

		開催回数	参加者数	参加学生数
				(内留学生)
秋田県内	小学校	4	175	16
	中学校	11	509	84
	高校	4	241	35
	その他	6	17	25
合計		25	942	160

## 南太平洋大学との交流

外務省の対日理解促進交流事業「JENESYS」の一環として、フィジーにメインキャンパスを置く南太平洋大学 (USP) とオンライン交流を行い、フィジーをはじめ、バヌアツ、トンガなどの南太平洋諸国から USP 学生が参加しました。前半は本学の学生が大学の特長やカリキュラムなどを紹介し、動画でキャンパスを巡るバーチャル・キャンパスツアーを行いました。後半はグループに分かれ、教育をテーマにディスカッションを行いました。



南太平洋大学とのオンライン交流の様子

## 日本語教育との連携

本学留学生がオンラインで学ぶ日本語クラスに、地域の中学生を招き日本語と英語を使って交流を行うことにより、地域交流に加えお互いに学んだ日本語・英語を実践する場を得るといった相乗効果が生まれています。



横手清陵学院中学校とのオンライン交流の様子



平田 友香

日本語プログラム/非常勤講師

留学生が自国の文化や習慣などについて4択のクイズを作りました。学んだ日本語を活かそうと積極的に取り組んでいました。クイズでは日本語・英語・韓国語・中国語の学習機会にもなり大変楽しかったようです。

# 国際教養大学 サポーターズクラブ



## ■入会のお願い

国際教養大学は、世界中から集まった優秀な教授陣がすべての授業を英語で提供し、徹底した少人数教育を行うなど、従来の大学にはない特徴を備えた大学です。21世紀の大学教育を変えるバイオニア的役割を担った国際教養大学の挑戦は、秋田県はもとより、日本全体でも画期的な取組であります。『国際教養大学サポーターズクラブ』は、この大学が着実に発展するよう物心両面から応援するとともに、大学と会員との交流・連携の促進などを目的としております。何卒、趣旨にご賛同賜り、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

国際教養大学サポーターズクラブ  
会長 三浦 廣巳

## ■年会費

個人 一口 3,000円、法人 一口 10,000円

入会を希望される方は、以下のQRコードを使用し表示されるフォームに入力いただくか、事務局へご連絡ください。

国際教養大学内サポーターズクラブ事務局

電話：018-886-5904

FAX：018-886-5910

Email: aiu-supporters-club@gl.aiu.ac.jp



# 地域連携

本学と地域の関係機関・団体との連携や、様々な学習機会の提供により、地域活性化に向けた多様な活動を展開しています。



デザイン思考実践(安藤醸造)

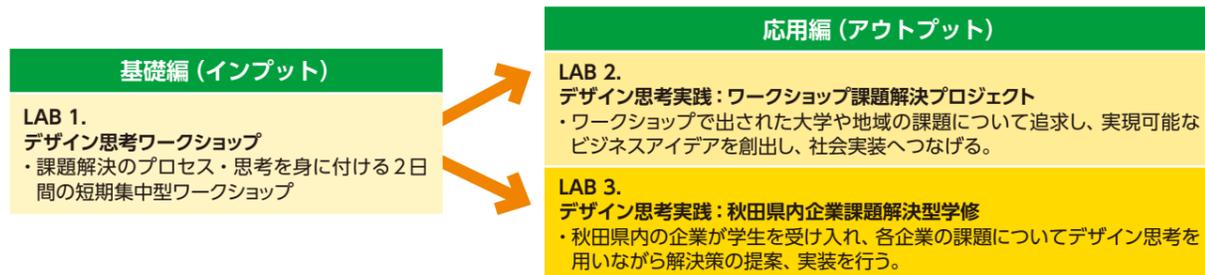
## 地域連携協働研究センター (Center of Collaborative Research and Outreach)

2022年4月1日より、「アジア地域研究連携機構」を改組し、新たに「地域連携協働研究センター」を設置しました。地域連携協働研究センターでは、学内連携、地域・企業との連携を強化し、教育・研究・地域貢献の充実を図ります。

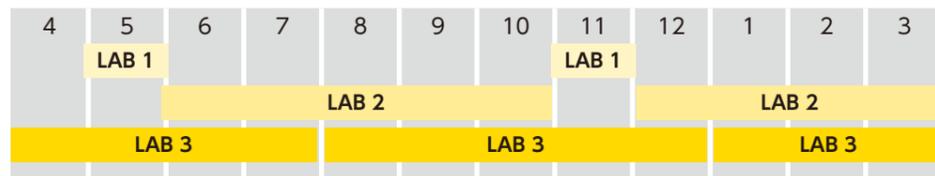
### AIUデザインLAB

AIUデザインLABは、産学連携で行う課題解決の取組です。基礎編のワークショップで、課題解決に有効な手法「デザイン思考」を習得し、そこで得られた着想を応用編「デザイン思考実践」で実際の活動に結び付けていきます。大学や秋田県内の企業が抱えるさまざまな課題の解決に向けて、学生と企業が協働しています。

#### プログラム構成



#### 年間スケジュール



#### これまでの取組例

- ◎Afterコロナ時代の観光を見据えた老舗企業のDX戦略とは?
- ◎MaaS (Mobility as a Service) 時代における未来のサービスステーションの役割とは?
- ◎社員一人ひとりの働きがいを最大化する組織の在り方とは?
- ◎With/afterコロナ時代におけるオフィスの価値を再定義せよ!
- ◎秋田県産商品の販促マーケティング戦略とは?
- ◎高齢者をサポートする地域医療、コミュニティドクターの在り方とは?



ワークショップの様子



デザイン思考実践(田沢モータース)

秋田県内の企業の方へ  
AIU生と協働で社内の課題解決に取り組みませんか?

問い合わせ  
研究・地域連携支援課 地域連携チーム  
TEL: 018-886-5835  
Mail: aiu.collaboration@gl.aiu.ac.jp



豊田 哲也  
教授/図書館長  
(前・アジア地域研究連携機構長)

社会の変化が加速し、新参者の活躍しやすい状況が生まれています。既存のビジネスと社会のあり方を柔らかな頭で考え直し、なにか面白いことができないか、一緒に取り組んでみましょう。

### 世界の中の秋田蘭画

世界に目を向けた進取の気性を表す「秋田蘭画」の小冊子出版、国内外発表、また講演等を通して、積極的な紹介を続けています。



阿部 邦子  
グローバル・コネクティビティ領域/  
客員教授  
応用国際教養教育機構連携研究員



秋田と世界を結ぶ芸術文化遺産としての「秋田蘭画」は新たなステージを迎え、時空を超えたケーススタディとして、欧米の著名大学をはじめ世界の38ヶ国から関心を集めるようになりました。

### 観光交通デジタル化プロジェクト

秋田県内の路線バス時刻表データのGoogle Mapへの登録や、観光地の説明板をウェブ経由で多言語化する事業を進めています。



豊田 哲也  
教授/図書館長  
(前・アジア地域研究連携機構長)



デジタル技術は観光や交通を変えつつあります。本プロジェクトでは2018年に県内のすべてのバス路線のGoogleマップ掲載を実現しました。QRコードを使った史跡等の解説の低コスト多言語化にも取り組んでいます。

### 秋田県産品の海外PR

株式会社花善と協力し、秋田県産品のフランスへの輸出拡大を目指すプロジェクトです。「秋田の味」を詰めた駅弁をパリのリヨン駅で販売するために、マーケティング調査やPR資料の作成等を行いました。



中川 秀幸  
グローバル・ビジネス領域/准教授  
地域連携協働研究センター コーディネーター

秋田の食材が海外でも高い評価を得る可能性をもつことは本学の留学生を通じて認識しています。それを文化や規制の異なる環境でどのように売り込んでいくか、という大変意義があり、また学びの多いプロジェクトとなりました。

### JR東日本寄附講座

「縮小社会における持続可能な地域づくり」に関する研究・教育活動を実施しています。2021年度は秋学期に「関係人口論」を開講し、秋田市と五城目町でフィールドワークを行い、学生自身が関係人口として県内各地の地域にどのように主体的に関わることができるのかを議論しました。



工藤 尚悟  
グローバル・スタディ領域/  
准教授



フィールドワークの様子

リベラルアーツ教育における批判的思考や学際性の習得には、現場での学びが不可欠です。本学の多彩な科目や眠らない図書館での座学と秋田というフィールドの両方を涉猟し、ぜひ生きた知性を身に付けてください。

powered by 秋田銀行

## 《秋田県内特化型》就職ポータルサイト



秋田の企業からオファーが届く。

スマホで簡単! 2ステップで登録完了!



あなたにぴったりの仕事が秋田で見つかる!

くわしくは [キャリアピタAKITA](https://www.caripita-akita.com) で検索!  
<https://www.caripita-akita.com>



## 公開講座

地域連携・貢献活動の一環として公開講座を毎年開講しています。2021年度はオンラインでの開催となり、県内外のみならず海外からもアクセスがあり、より幅広い地域と年代の方々に参加いただきました。参加者からは、「日本と外国の国際関係について、日本からの視点のみに限らず、外国からの視点でも考えるようにしたいと感じました。」「コロナ禍の大変な時に、学ぶ事で未来を明るく前向きに感じました。」などの感想が寄せられました。

**開催日** 2022年1月29日(土)

**参加者** 207名

講座1	「本多正純終焉の地 秋田から日韓関係を考える」 水野 智仁 グローバル・スタディズ領域長/教授	
講座2	「高温高密度の極限状態における物質の性質を探る」 奈良 寧 グローバル・コネクティビティ領域/教授	
講座3	"On robots and music: When Artificial Intelligence takes the stage" 「ロボットと音楽:人工知能がステージに立つとき」 イリーナ クズネツォワ (Irina KUZNETCOVA) グローバル・コネクティビティ領域/助教	
講座4	"Is There A True Self?"「本当の自分」は存在するか? アキコ フリシュート (Akiko FRISCHHUT) グローバル・コネクティビティ領域/助教	

## AIU リサーチ・ウィーク

「AIU Research Week (リサーチ・ウィーク)」とは、本学の教員と学生が日ごろの研究成果を発表し、学内外のコミュニティで共有することを目的とするイベントです。教員・学生によるプレゼンテーションを、アーカイブにして一般公開しています。

**開催期間** 11月15日(月)～11月21日(日)

**発表者** 教員・学生 7組12名

**総視聴数** 315回

### テーマの一例

- ◎日本のクワイアコミュニティにおけるインターセクショナリティ
- ◎コンピュータ支援設計、3D印刷、光合成原生生物ユーグレナ・グラスリスを用いた分析的思考と実験計画スキルの構築
- ◎日本の大学における英語教育



## 秋田公立美術大学との連携

### 学生交流事業「吹きガラス体験」

異なる領域を学ぶ学生との交流や対話を通して自らの視野を広げ、思考を深めることを目的に、秋田公立美術大学内のガラス工房で「吹きガラス体験」を開催しました。ガラスの性質や造形を学び、相互に交流しながら作品を共同制作しました。

**開催日** 10月30日(土) **参加者** 20名

○講師：小牟禮 尊人  
グローバル・コネクティビティ領域/客員教授  
(秋田公立美術大学美術学部美術学科ものづくりデザイン専攻/教授)  
瀬沼 健太郎氏  
秋田公立美術大学美術学部美術学科ものづくりデザイン専攻/准教授



吹きガラス体験の様子

### AUA×AIU連携セミナー「ジェンダー・トーク」 ～なぜジェンダーについて学ぶのか～

秋田公立美術大学と協働で、「ジェンダー」をテーマとする勉強会(セミナー)をオンライン開催しました。両大学の教員を講師に迎えて「ジェンダーについて学ぶこと」を捉え直すとともに、アート領域の視点を重ねて広く社会を考察する機会とすることが目的です。質疑応答では、それぞれの大学・立場から様々な質問やコメントが飛び交い、オンラインでも熱気にあふれたイベントとなりました。

**開催日** 12月2日(木)

**参加者** 70名

○進行：岩井 成昭氏  
秋田公立美術大学副学長・美術学部美術学科ビジュアルアーツ専攻/教授  
○講師：曾根 博美氏  
秋田公立美術大学美術学部美術学科ビジュアルアーツ専攻/教授  
千葉 加恵子  
グローバル・コネクティビティ領域/准教授

## 地域の日本語教育支援

本学の日本語プログラム及び専門職大学院日本語教育実践領域では、教員や大学院生の専門性を生かし、地域の日本語教育や日本語支援者間のネットワーク構築に貢献しています。秋田市日本語教室での授業や外国人介護人材に対する支援のほか、2021年度は秋田県国際交流協会が開催した日本語サポーター養成講座など、県内の日本語学習支援者の養成講座や研修で講師を務めました。

2022年2月には、『岩手県・秋田県・山形県における「なか東北連携」による地域日本語教育専門人材養成事業に関する連携協定』を3県の7者間で締結し、日本語教員養成課程を持つ3大学、地域国際化協会、NPOが連携して地域日本語教育専門人材の養成を行う取組を始めました。

**嶋 ちはる**  
専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科  
日本語教育実践領域/准教授

「なか東北連携」の事業では、秋田に暮らす外国人のニーズや言語使用場面などを踏まえて、コースデザイン、教授、評価ができる知識・技術・教育観を有する地域日本語教育専門人材を養成します。



日本語サポーター養成講座 湯沢市日本語教室



なか東北連携協定の様子(オンライン)

# 地域と世界をつなぐ



### スポーツ交流

自治体のホストタウン事業のサポートを実施し、交流人口の拡大に取り組みました。



### 教育交流

タイの大学生の県内企業でのインターンシップをアレンジし、マッチングを行いました。



### 視察団受入

国際協力機構(JICA)視察団受入や海外公的機関の県内視察のサポートを実施しました。

